

こんな **ひと工夫** があります！

ほっかいどう チャレンジテスト 活用例

皆様から
寄せられた

学力向上Webシステムのアンケートに
各学校から寄せられた活用例を紹介します。

子どもが自主的に活用する！

「チャレンジテストコーナー」を設置

子どもたちが、自主的にチャレンジテストに取り組めるよう、廊下やホールに「チャレンジテストコーナー」を設けたり、各学級にチャレンジテスト用の棚を設置したりしています。



補充学習に活用する！

週に一度の「算数の日」

例えば、毎週木曜日の朝学習を「算数の日」として、チャレンジテストや全国学力・学習状況調査等の分析結果から、課題と思われる問題に全校で取り組んでいます。

また、放課後や長期休業中などの機会に、長期休業版や単元別問題を活用しています。



授業で活用する！

正答率の低い問題に再チャレンジ

北海道学力向上Webシステムの集計結果のグラフを用いて傾向を分析し、正答率の低かった問題を授業で再度取り上げています。

特に、授業の終わりの5～10分程度の時間に練習問題として活用しています。



その他にこんな活用も！

データを共有していつでも活用

チャレンジテストの過去の問題のデータを共有フォルダに保管し、先生がいつでも活用できるようにしています。

掲示板を利用したクイズコーナー

北方領土や地図記号などの問題をクイズコーナーとして掲示し、子どもがいつでも振り返ることができるようにしています。

成果や課題を保護者と共有

学校だよりに集計結果をグラフで掲載し、保護者に取組の成果や課題をお知らせしています。



チャレンジテストは、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着及び思考力・判断力・表現力等の育成を図るための問題として作成しており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に活用できます。



わかるん&できるん